

各位

令和7年2月吉日

一般社団法人高岡市歯科医師会
会長 立浪 徹
学術担当理事 津野宏彰

令和7年度高岡市歯科医師会学術講演会のお知らせ

謹啓 寒明の候、ご清栄のことと拝察いたします。

高岡市歯科医師会では例年より早めの開催ではありますが、恒例の学術講演会を企画いたしました。本年は、慶應義塾大学医学部 歯科・口腔外科学教室 中川 種昭 教授に「歯周病の概念と治療-全身疾患との関わりを含めた38年の変化-」と題し、ご講演をいただく予定です。

今回は講師のご意向もあり、現地参加のみでの開催とさせていただきます。現地会場でこそ、聞くことができる講演内容でご準備いただいております。ご多忙の折とは存じますが、是非とも、ご参加をお待ちしております。

謹白

記

【日時】 令和7年4月13日（日） 13:30～16:30(予定)

【会場】 高岡市医師会事務局（高岡駅改札階 観光案内所脇連絡通路奥）内
ホール研修室 （高岡市下関町4-56 ソラエ高岡2階）



会場アクセス↑

【講演】 歯周病の概念と治療 - 全身疾患との関わりを含めた38年の変化-

【講師】 慶應義塾大学医学部 歯科・口腔外科学教室 教授 中川 種昭 先生

【対象】 歯科医師、医師、薬剤師、コメディカルスタッフ

【会費】 無料

申込先：高岡市歯科医師会事務局 FAX 0766-24-0318 E-mail tcd6024@angel.ocn.ne.jp

参加希望の方は **4月4日（金）** までにお申し込みください。

※高岡市歯科医師会会員は本会webサイト会員専用ページからも申し込み頂けます。

このまま切り取らずにご送信ください

令和7年度高岡市歯科医師会学術講演会申込書

医療機関名

職種	氏名

歯周病の概念と治療 -全身疾患との関わりを含めた38年の変化-

慶應義塾大学医学部 歯科・口腔外科学教室 中川 種昭

口腔は、皮膚、腸管とともに、多くの細菌と共存している組織です。その細菌叢のバランスが崩れることで、う蝕や歯周病といった疾病が発症します。私が専門としてきた歯周病領域では、プラークの量的増加、質的变化が生じ、グラム陰性菌を主体とした細菌が増えることで組織破壊が生じると考えられます。一方、局所の感染だけで歯周病が成立するわけではなく、免疫応答、メタボリックシンドロームと呼ばれる糖尿病や肥満、高血圧などの全身的な因子もリスク因子として注目されています。

歯周病は糖尿病の第6の合併症と言われるほど、その関連性が注目されています。また、循環器疾患やリウマチ、骨粗鬆症、消化器がん、アルツハイマー病などとの関連も指摘されていますので、患者さんの全身状態を把握した上で治療に臨む必要があります。そのためには医師との連携が不可欠になります。今回は、大学人としての自分が歯科医師になって38年あまりの間に、歯周病の概念や治療の何が変わって、何が変わっていないのだろうかという観点から、全身疾患との関わりをふまえ、基本的なことを中心に皆様と考えてみたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【中川種昭先生 ご略歴】

1985年 東京歯科大学卒業
1989年 東京歯科大学大学院修了(歯周病学)
1990年 東京歯科大学助手(歯周病学講座)
1996年 東京歯科大学講師
1997年 ワシントン大学(シアトル、USA) Visiting assistant professor
1999年 東京歯科大学講師(復職)
2001年 東京歯科大学教授(歯周病学講座)
2002年 慶應義塾大学医学部教授(歯科・口腔外科学教室)
2019年 東京歯科大学客員教授
2021年 慶應義塾大学医学部副医学部長
現在に至る